

# 古民家の魅力にせまる

神奈川県立鎌倉高等学校 村山

## 1. レポート概要

鎌倉といえば、古い町並みが印象的である。それらを見て私は、歴史あるものだからこそたくさんの人によって長年守られ続けていることを実感した。そこで古民家の持つ魅力を調べようと思った。あまり古い文化にふれる機会は少ないが、以前テレビで若者に古民家の人気が高まっている、ということを知ったことがあった。そこでこの機会に古民家の良さを知り、伝えたいと思う。

## 2. 調べたことわかったこと

### (1)そもそも古民家とは

民家の中でも特に古く、伝統的な木造建築工法で建てられ、日本の文化と風土に適した住居のことである。建築後何年経ったか、というような定義は無いが、一般的には江戸時代末から戦前くらいまでに建てられたものを示す。ちなみに鎌倉には、大正末期から昭和初期の民家が並んでいる。

一部の古民家では松を使うなど、現在ではなかなか使用されない貴重な材木もある。今回、材木については触れないが、昔の雰囲気の方が感じられるので興味のある方はぜひ調べてみてほしい。

このように、古民家は長い間建ち続け、その場所を表す建築物であることが分かる。

では、具体的に古民家にはどのような特徴があるのか？そこを探ってみた。

### (2)古民家の特徴

○メリット	×デメリット
<ul style="list-style-type: none"><li>昔ながらの趣ある伝統的な住まい</li><li>自然素材でつくられていて健康的</li><li>夏は涼しく、風通しも良い</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>暗さと寒さへの対応</li><li>修繕工事費がかかる</li><li>耐震性の基準を満たしていない可能性もある</li></ul>

古民家は、まさに自然と一体したような家である。しかし、そのぶん現代住宅に比べて欠けている面もあり、工事費としてのお金は多くかかってしまう。

### (3)鎌倉と古民家

実際に鎌倉の歴史ある町並みを歩いてみた。

#### (a)旅館 對遷閣 (たいせんかく)

この旅館は明治末期から 120 年以上続いている。しかし関東大震災により全壊してしまったので、現在の建物は昭和 2 年に再建されたものである。古い建物を利用して最近の企業が営業しているのではなく、明治末期のはじめから同じ鈴木家が営んでいる。

過去には、与謝野晶子や島崎藤村らが泊まったそうだ。

現在は、「鎌倉市景観重要建築物」に指定されていて、本当に貴重な旅館であることが分かった。

#### (b)北鎌倉古民家ミュージアム

旧鎌倉骨董美術館で、築 100 年以上になる古民家を展示スペースとして利用している。もとは横浜や福井から移築した建物らしい。

残念ながら、この日は展示の入れ替えに当たってしまったため、中に入ることはできなかった。しかし、木の味が活かされている建物で緑も多い場所だったので、機会があれば中を見学したいと思った。

-- \* ここからは別の日に茶道部で行った場所 --

#### (c)三溪園 旧矢篋原家住宅 (横浜)

大きな茅葺屋根で合掌造の屋根が特徴の民家。

もとは白川郷にあったが、ダム建設により三溪園に移築された。重要文化財に指定されている。

#### (d)野尻邸 (旧大佛次郎茶亭)

大正 9 年に建てられ、對遷閣と同様「鎌倉市景観重要建築物」に指定されている。鎌倉文士であり、古都保存法の成立に寄与した大佛次郎が茶亭として使用していた。

現在でも、この広い庭園でお茶会が開かれる。鎌倉高校茶道部はここでお手伝いをさせてもらっている。

このように私たちの周りには、思っていた以上に歴史ある民家が建っていることを気づかされた。

現在この古民家ブームで、“鎌倉の古民家”に目を向ける人が多いという。

しかし、具体的にはどのような面を見て人々は鎌倉を選んでいるのか。そこでその理由を探ってみた。

#### (4)鎌倉の古民家が注目されている理由

調べてみると、次のようなことにたどり着いた。

##### ○東京都心へのアクセスが便利になったこと

・明治 22 年 横須賀線開通

→明治以降、鎌倉に住居を移す人が増加した。

・2001 年 湘南新宿ライン登場

→東京へ一時間で行くことができ、渋谷・新宿・池袋へも直結するようになった。また、成田直行ルートも現れた。

##### ○歴史ある場所で、いつでも観光気分になれる

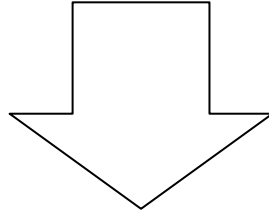
禅の文化がたくさんある鎌倉は、日本有数の価値のある寺が多い。鎌倉の神社仏閣には、「あじさい寺」「苔寺」「萩の寺」「花の寺」「竹の寺」など、自然を感じさせる別名を持つものがあるそうだ。鎌倉文士の影響もありそうな名前だと思った。

##### ○景色がとても良い

海が近く、江の島・富士山を一度に見ることができる。もちろん江ノ電も人気の観光地である。鎌倉というと神社仏閣のイメージが強いが、それ以上に樹木はとて多く自然が豊かなことが分かる。

また、梅雨の時期には北鎌倉を中心に紫陽花が綺麗に咲いている。





このようなことから、「鎌倉に住みたい！」と思う理由が多く存在することが分かる！

#### (5)古民家を守る活動

- ・ 古都保存法…建物の新築や増改築を制限し、景観を守る法律
- <保存会の活動（例）>
- ・ 古民家の又貸しを行う
- 高齢者の苦勞、メンテナンスの負担、一度鎌倉から離れる、という人に助かる。
- ・ 古民家の管理、活用
- 建物の一部をレンタルとして教室、サロンスペースなどに貸し出す。

#### (6)現在の古民家の使われ方

古道具屋、そば屋、カフェ、甘味処、インテリアショップ、アトリエハウスなど幅広いところでお店として利用されている古民家が多かった。

### 3. まとめ

これらのことから、古民家は長い時間の中でたくさんの人の手によって支えられ続けていることを改めて感じた。古民家は暗さや寒さ対策等よく考えなくてはならないところもあるが、現代のようにエアコンのボタン一つで簡単に調節できてしまう家に比べてとても環境に優しく、自然に風が通るようになっている。

また、交通の便が良くなったことで、都会で働くが家ではのんびりしたいと思う人にぴったりの条件が鎌倉にはそろっていることが分かった。

今では歴史的な面ばかりでなく、漫画やアニメ、映画の舞台としても多く取り上げられる鎌倉。これからさらに鎌倉に興味を持つ人は増えていくだろう。だからこそ、私たちはこの美しい景観を守っていくために周りの文化財についてよく理解しなければならない。

この鎌倉探索から、少しでも多くの人に古民家の大切さ、素晴らしさが伝わってほしいと思う。

#### 【引用・参考文献】

- ・ 日本民家再生リサイクル協会編『民家再生の実例』丸善株式会社
- ・ 日本民家再生リサイクル協会編『民家再生の魅力』相模書房
- ・ 宇井 洋著『古民家再生住宅のすすめ』晶文社
- ・ 松井 郁夫著『「木組み」でつくる日本の家』農文協
- ・ 鎌倉古民家バンク <http://sumai.cocolog-nifty.com/kamakurakominka/>